

「おすすめ本ピックアップ」
小説『津軽』を辿る
 太宰が『津軽』執筆の際、およそ三週間かけて訪れて回った津軽を、二泊三日で体験しました。
 〈走れメロス〉マラソンにも参加してきました。
 (編集部：青山万里子)

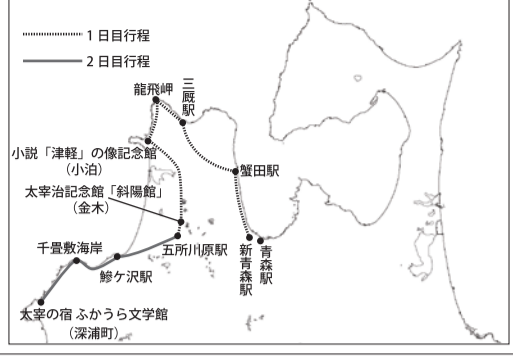
小説『津軽』誕生の背景

一九四四(昭和十九)年五月中旬、当時三十五歳だった作家太宰治は、津軽半島をおよそ三週間かけて一周しました。次々と作品を発表し、精神的にも一番安定していたと思われる時期です。出版社から故郷についての執筆を依頼され、久々の帰郷となりました。

この旅で太宰は、旧家に生まれたことによる劣等感や負い目といった逃れられない自身の運命を見つめ、津軽人としての己を再発見することに努めます。

それから七十三年後の今年二〇一七年五月、私は小説『津軽』の足跡を辿るべく、津軽半島に向かいました。

【青森県の略図と今回のルート】
 (移動はレンタカー)



【太宰治記念館「斜陽館」太宰の生家】

信じるところに現実はある

太宰は当時の旅によって、津軽人としての自分をつかみたいと願っていました。津軽人とはどんなものであったか、それを見極めたくて旅に出た、生き方の手本とすべき純粋な津軽人を捜し当てたくて津軽へ来た、と述べています。

そして発見したものとは、理由も形もなにもない、ひどく主観的なものであり、誰がどうしたとか、どなたがどうおっしゃったとか、何もこだわるところがなかった、とにかく現実が眼中になかった、と。

「信じるところに現実はあるのであって、現実を決して人を信じさせる事が出来ない」という言葉を、太宰は旅の手帖に二度も繰り返して書いています。

太宰治生誕100年記念出版
 小説101篇を読者の年代に合わせて選別。

太宰治選集
 巻II ◆ 人生の充実と喪失を味わっている友へ
 【収録作品】
 富嶽百景、駒込み訴え、津軽、パンドラの匣、他38編
 2009年4月刊 / 4,952円(税別) / 736頁

太宰と乳母たけとの再会

太宰は蟹田・三厩と旧友を訪ね、津軽人の本性を暴露した熱狂的な接待ぶりに面食らいながらも、自身の姿と重ね合わせ、この疾風怒涛の如き接待は津軽人の愛情の表現なのだと感じることになるのです。

小説『津軽』では、最後に太宰は小泊へ向かいますが、今回の旅では龍飛岬から南下して小泊へ向かいました。太宰が幼少期の乳母「たけ」と再会した場所が、記念館として残されています。太宰は「たけ」と再会し、生まれて初めて心の平安を感じ、自分はやっぱりたけの子なのだ実感するのでした。

この太宰と「たけ」との再会は、何度読み返しても感動的なシーンです。



【太宰の孫にあたる津島淳氏(左)】

「走れメロス」マラソン

五所川原市が主催し、今年で6回目を迎える「走れメロス」マラソンの10キロに参加しました。

二〇〇九年に柏船舎より『太宰治選集(全三巻)』を刊行した際にハーフマラソンに出場して以来、二度目の挑戦です。

『太宰治選集』と『太宰ノオト』をモチーフにしたTシャツを着ていたところ、太宰の孫にあたり、現在は衆議院議員を務められている津島淳氏が声をかけてくださいました。

地元の方々の声援も温かく、岩木山を眺めながらのランニングは爽快でした。太宰も感じたであろう津軽の風を浴び、大変貴重で楽しいひとときでした。

小説『津軽』を読み、ぜひ一度、津軽を訪れてはいかがでしょう。

太宰治選集(全三巻)
 2009年4月刊
 14,286円(税別)

生誕100年記念出版

巻I (10代～30代) 33編 704頁 4,571円(税別)
 青春の恍惚と不安を覚えている君へ
 女生徒、正義と微笑、新ハムレット、斜陽 他。
 解説：角田光代(作家)

巻II (30代～50代) 38編 736頁 4,952円(税別)
 人生の充実と喪失を味わっている友へ
 富嶽百景、津軽、桜桃、ヴィヨンの妻 他。
 解説：安藤宏(東京大学准教授)

巻III (50代以上) 39編 728頁 4,762円(税別)
 来し方の栄光と悔恨をかみしめている貴方へ
 道化の華、走れメロス、右大臣実朝、人間失格 他。
 解説：石坂浩二(俳優)

太宰ノオト
 三木学
 2009年6月刊
 905円(税別)

● 編者の三木さんの「太宰に出会ってつらいこともたくさんあったけれどそれ以上に楽しいことの方がたくさんあった」という言葉におおいに共感できました。

愛読者カードより
 【北海道 39歳 女性】

● おもしろいアイデアだと想います。これを読んだら、誰もが太宰を読みたくないと想いました。

愛読者カードより
 【青森県 71歳 男性】

『わっしょい倶楽部』
会員募集中！ 会費無料

「わっしょい倶楽部」は柏船舎を育ててくださる皆様のサポート組織です。北の地、札幌から私たちと一緒に新しい出版文化を創造しませんか？

会員(会費無料)の皆様には「柏船丸航海日誌」やイベント情報をお届けいたします。様々な会員特典をご用意しています。入会ご希望の方は、住所、氏名、ご連絡先を明記の上、弊社HPまたはお電話でお申し込みください。

〈入会申込 URL〉
<http://www.hakurosy.com/wclub.html>
 〈入会申込 TEL〉
 柏船舎：011-219-1211

100歳以上の方、大募集！

柏船舎では、北海道にお住まいの百歳を越えた方々の写真集を企画しております。ご家族やお知り合いに、北海道に百年暮し、現在百歳を超える方がいらっしゃいましたら、ぜひ情報をお寄せください。

写真：小森学

タイトル：『百歳を超えた北海道人』（仮題）
 写真・文：小森学(プロカメラマン)
 内容：開拓時代の北海道を知る、北海道に生まれ育った百歳を超えた方の人生を、その表情、しわの一本一本から、一枚、ないしは二枚の写真で切り取りたい。本書を通して北海道を今日たらしめている彼らの生き方をきちんと記録に残し、感謝の意を伝えたいと考えています。
 ※掲載されたご本人には本写真集を2冊、ご紹介してくださった方には1冊進呈いたします。
 連絡先 柏船舎 011-219-1211 担当 可知佳恵 y-kachi@hakurosy.com

あなたの本をつくりませんか？
柏船舎の自費出版

小説、エッセイ、写真集、詩集、絵本、俳句集 etc...

今までに皆様の100を超える想いを形にしてみました。良心的な料金設定、丁寧な編集・校正、製品の完成度に自信があります。

- 多彩なオプションで、あなたの思い通りの本を製作いたします。
- お見積りも無料。原稿が完成していない段階でも、どの程度の費用がかかるか丁寧に説明いたします。
- 俳句や詩の会の会報、冠婚葬祭の記念誌、定年後の自伝等、あらゆるニーズにお応えいたします。
- 柏船舎では、自費出版だけでなく、書店に流通する通常出版や共同出版も行っており、常に原稿持込みを募集しております。

資料請求等
 お気軽にお問合せください。011-219-1211 担当 山本 哲平
<http://www.hakurosy.com/elk2/index.html>

柏船舎学校事業部 翻訳家養成校
インターカレッジ札幌
 体験受講・実力判定 無料！入学随時受付中！

英語が好き
 日本語が好き
 本が大好きな方、
文芸翻訳家養成校が札幌にあります。

★インターカレッジ札幌では、第一線で活躍する翻訳家が少人数クラスで指導します。
 ★卒業生には(株)柏船舎及び他出版社と連携して、仕事の紹介、提供をしています。
 ★当校は随時入校可。実力判定テスト(無料)、クラス見学(無料)をお試しください。

インターカレッジ札幌 担当 青山万里子
 受付時間11時～18時(土日祝除く)
 TEL 011-219-1772 FAX 011-219-1210
 E-mail: info@intercollege.co.jp HP: www.intercollege.co.jp